

町民の皆さんとともに町に活力を

世界各地で新型コロナウイルス感染症がまん延し、日本国内でも9月20日現在で感染者が約7万9,000人、死者が約1,500人を超えるなど長期間、感染症が猛威を振るっています。「新しい生活様式」が始まり、「日常」を取り戻しつつある現在。小中学校が再開し、商店や飲食店なども感染防止対策を取りながら営業するなど町の活気が少しずつ戻ってきています。町では、商店街の活性化や円滑な情報提供、また、子どもたちが安心して生活できるようさまざまな取り組みを行っていきます。

光ファイバ整備に必要な運営経費支援事業

市街地だけでなく、町内全域で光通信が可能となり、また、スマート農業を推進することが求められるため、JAきたみらいや農業者から光ファイバ網の整備について強い要望がありました。また、GIGAスクール構想(※)においては、学校や児童、生徒の自宅で光ファイバが整備されていることが望まれているため、整備が必要となりました。国では、GIGAスクール構想や在宅勤務、オンライン診療などに必要な全国の情報通信基盤を早急に整備するための財政支援が手厚くなったことから、町では光ファイバ網を整備することとし、必要な運営経費を支援します。

公立学校情報機器整備事業

GIGAスクール構想の実現に向け、学校の情報通信ネットワーク環境や児童・生徒1人1台のパソコン端末、Webカメラなどを整備し、ICT教育(教育現場で活用される情報通信技術)の推進や臨時休校時のリモート学習(自宅で学校と同様の内容の学習ができること)などに対応します。



※ GIGA スクール構想とは

1人1台のパソコン端末などと高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、子どもたち一人一人に個別最適化した学びを教育現場で持続的に実現させることです。



プレミアム付商品券発行事業

依然として回復の兆しが見えない地域経済と町民の家計支援を目的として、商工会が実施するプレミアム率33%の商品券を支援し、景気回復を後押しします。



学校教室空調設備等整備事業

熱中症対策および換気対策としてエアコンや天井扇風機を整備します。



避難所備蓄整備事業

感染予防対策を講じた避難所運営に必要なとなる段ボールベッドやパーティション、備蓄マット、アクリル板など防災備蓄品を整備します。



感染症に対応したさまざまな取り組み

社会教育施設備品整備事業

社会教育活動・生涯学習を行うため、感染症予防対策に必要な備品などを整備します。



生活路線バス事業者支援事業

感染症の影響により減収した生活路線バスの運行に係る感染症拡大防止対策経費の一部を支援するとともに、唯一の公共交通機関としての経営維持を支援します。

子育て3施設感染予防対策事業

認定こども園で移動式扇風機、子育て支援センターで空気清浄機、そのほか児童センターを含め感染症予防対策に必要な消耗品などを整備します。

日ノ出地区ふれあいセンター エアコン整備事業

放課後児童活動としての夏季使用頻度が多いことから、熱中症対策および換気対策として整備します。

医療機関支援事業

感染症指定医療機関として検査・治療に当たる北見赤十字病院に対し、近隣4町により支援を行い、広域救急医療体制の維持を図ります。

児童センター空調設備整備事業

放課後児童センターとしての夏季使用頻度が多いことから、熱中症対策および換気対策としてエアコンを整備します。



図書除菌機購入整備事業

貸し出しおよび返却図書の消毒・除菌を行う図書除菌機を購入します。



オンライン会議システム構築事業

行政が主催する各種会議などの開催について、感染症予防対策を図るため、オンライン会議システムを導入します。



共同広告を発行しています

町と町商工会では、商店街を盛り上げるため、広告を発行しています。広告の掲載を希望する事業者の方は、町商工会(☎47-2241)までご連絡をお願いします。

